

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カイノス

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上地史朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 黒谷理

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,778	6.6	139	23.0	136	34.0	89	51.4
25年3月期第2四半期	2,607	14.7	113	53.6	101	44.1	58	63.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.00	—
25年3月期第2四半期	13.21	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
26年3月期第2四半期	5,823	668.91	2,977	668.91	51.1	668.91	668.91	
25年3月期	6,085	654.73	2,914	654.73	47.9	654.73	654.73	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,977百万円 25年3月期 2,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	4.2	300	20.2	293	16.4	185	20.2	41.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	4,558,860 株	25年3月期	4,558,860 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	107,697 株	25年3月期	107,337 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	4,451,463 株	25年3月期2Q	4,451,606 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報	1
	(1) 経営成績に関する説明	1
	(2) 財政状態に関する説明	2
	(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2	サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
	(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3	継続企業の前提に関する重要事象等	3
4	四半期財務諸表	4
	(1) 四半期貸借対照表	4
	(2) 四半期損益計算書	5
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
	(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
	(継続企業の前提に関する注記)	7
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
	(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期累計期間における我が国経済は、前事業年度から推し進められてきた金融緩和策や景気浮揚策により景気回復の兆しがうかがえる状況で推移してまいりました。

しかし、今後における消費税率引上げ等の財政対策による効果、或いは、欧州における財政問題や新興各国経済の減速懸念による影響等を含め、依然、不透明な状況にあります。

臨床検査薬業界におきましては、平成 24 年 4 月に実施された診療報酬改定の影響は軽微なものに留まりましたが、国の医療費抑制政策及び市場における価格競争等の厳しい環境は継続しており、第 1 四半期に引き続き収益確保のための対策を続けてまいりました。

このような環境の下、当第 2 四半期累計期間の売上高につきましては、27 億 7 千 8 百万円（前年同期比 6. 6%増）となりました。

検査分野別で見ると、生化学分野におきましては、前事業年度に引き続き腎機能検査薬と糖尿病検査薬が好調な推移を示したことにより 8 億 3 千 9 百万円（前年同期比 2. 4%増）となりました。

免疫分野におきましては、輸血検査薬及びアレルギー診断薬等が堅調に推移したことにより 17 億 3 千万円（前年同期比 8. 4%増）となりました。

また、その他の分野におきましても、機器関連等が堅調に推移したことにより 2 億 9 百万円（前年同期比 9. 3%増）となりました。

この結果、営業利益につきましては、1 億 3 千 9 百万円（前年同期比 23. 0%増）、経常利益につきましては、1 億 3 千 6 百万円（前年同期比 34. 0%増）となり、四半期純利益につきましては、8 千 9 百万円（前年同期比 51. 4%増）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第 2 四半期累計期間 〔自平成24年4月1日 至平成24年9月30日〕		当第 2 四半期累計期間 〔自平成25年4月1日 至平成25年9月30日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	771,575	29.6	791,225	28.5
	免疫血清学的検査用試薬	178,037	6.8	282,735	10.2
	そ の 他	180,606	6.9	192,644	6.9
	計	1,130,218	43.3	1,266,605	45.6
商 品	生化学的検査用試薬	48,041	1.8	47,819	1.7
	免疫血清学的検査用試薬	1,418,329	54.4	1,447,351	52.1
	そ の 他	11,364	0.5	17,136	0.6
	計	1,477,735	56.7	1,512,308	54.4
合 計	生化学的検査用試薬	819,616	31.4	839,044	30.2
	免疫血清学的検査用試薬	1,596,366	61.2	1,730,086	62.3
	そ の 他	191,970	7.4	209,781	7.5
	計	2,607,954	100.0	2,778,913	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産の額は、58億2千3百万円となり、前事業年度末と比べ2億6千1百万円の減少となりました。流動資産は26億5千6百万円となり、前事業年度末と比べ2億5千1百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金が1億2千1百万円増加したものの、受取手形及び売掛金2億9千1百万円、商品及び製品2千万円、並びに原材料及び貯蔵品4千1百万円がそれぞれ減少したことによります。固定資産は31億6千7百万円となり、前事業年度末と比べ1千万円の減少となりました。その主な要因は、分析機器または基幹系サーバーなど有形固定資産の取得3千4百万円、及び人事ソフトの更新による無形固定資産の取得2千万円があったものの、その一方で減価償却費6千6百万円を計上したことなどにより減少しております。

当第2四半期会計期間末における負債の額は、28億4千6百万円となり、前事業年度末と比べ3億2千4百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金2億4千8百万円、未払法人税等4千3百万円及び流動負債のその他1千3百万円などがそれぞれ減少したことによります。

当第2四半期会計期間末における純資産の額は、29億7千7百万円となり、前事業年度末と比べ6千2百万円の増加となりました。その主な要因は、四半期純利益8千9百万円を計上した一方で、配当金3千3百万円の支払いを行なったことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は7億7千7百万円となり、前事業年度末と比べ1億2千1百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は1億9千6百万円の増加（前年同期は9千5百万円の増加）となりました。その主な増加要因は、仕入債務の減少2億4千9百万円、その他3千6百万円の支出により減少したものの、その一方で、税引前四半期純利益1億3千6百万円、減価償却費6千6百万円、売上債権の減少2億9千1百万円、たな卸資産の減少7千万円の収入によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は1千3百万円の支出（前年同期は4千3百万円の支出）となりました。その主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出1千2百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は6千万円の支出（前年同期は4千3百万円の増加）となりました。その主な減少要因は、配当金の支払額3千3百万円、その他1千4百万円の支出をしたことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後における国内経済は、10月に決定した消費税率の引上げ、原油価格の高値圏での推移及び中国をはじめとする新興国の景気鈍化や減速懸念等、不透明な状況は継続するものと思われま

す。このような状況の下、当社の通期における業績につきましては、第3四半期以降において流行に左右されやすいインフルエンザをはじめとしたPOCT関連試薬の不透明さはあるものの、腎機能検査薬と糖尿病検査薬等は堅調に推移することを予想しており、平成26年3月期の通期予想を修正いたしております。

(通 期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,616	267	260	154	34.59
今回修正予想 (B)	5,700	300	293	185	41.56
増減額 (B)-(A)	84	33	33	31	—
増減率 (%)	1.5	12.4	12.7	20.1	—
前期実績	5,471	249	251	153	34.57

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	995,530	1,117,387
受取手形及び売掛金	1,346,405	1,054,603
商品及び製品	249,266	228,452
仕掛品	67,419	59,413
原材料及び貯蔵品	164,065	122,876
その他	87,480	76,387
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,907,268	2,656,222
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	787,367	763,448
土地	1,851,453	1,851,453
その他(純額)	183,788	183,460
有形固定資産合計	2,822,609	2,798,362
無形固定資産	37,860	50,858
投資その他の資産	317,268	318,315
固定資産合計	3,177,738	3,167,535
資産合計	6,085,006	5,823,757
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,107,885	858,889
短期借入金	972,500	1,060,000
未払法人税等	87,289	43,633
賞与引当金	109,000	103,600
その他	288,401	274,973
流動負債合計	2,565,075	2,341,096
固定負債		
長期借入金	500,000	400,000
その他	105,382	105,214
固定負債合計	605,382	505,214
負債合計	3,170,458	2,846,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,221,619	1,277,266
自己株式	△90,302	△90,510
株主資本合計	2,891,464	2,946,902
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,083	30,544
評価・換算差額等合計	23,083	30,544
純資産合計	2,914,548	2,977,447
負債純資産合計	6,085,006	5,823,757

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,607,954	2,778,913
売上原価	1,742,275	1,855,842
売上総利益	865,678	923,071
販売費及び一般管理費	752,570	783,954
営業利益	113,107	139,116
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,859	3,621
受取賃貸料	3,881	2,737
その他	3,382	4,201
営業外収益合計	11,123	10,560
営業外費用		
支払利息	11,036	9,328
手形売却損	499	534
為替差損	7,857	1,843
賃貸費用	1,342	17
その他	1,822	1,735
営業外費用合計	22,559	13,457
経常利益	101,672	136,219
特別損失		
固定資産除却損	301	135
特別損失合計	301	135
税引前四半期純利益	101,371	136,083
法人税、住民税及び事業税	51,680	34,150
法人税等調整額	△9,100	12,900
法人税等合計	42,580	47,050
四半期純利益	58,790	89,033

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	101,371	136,083
減価償却費	81,694	66,185
売上債権の増減額 (△は増加)	76,692	291,802
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△69,048	70,008
仕入債務の増減額 (△は減少)	△87,719	△249,927
その他	29,363	△36,182
小計	132,353	277,969
利息及び配当金の受取額	3,881	4,841
利息の支払額	△11,298	△9,863
法人税等の支払額	△29,216	△76,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,719	196,094
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,179	△12,890
無形固定資産の取得による支出	△2,749	—
その他	945	△1,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,983	△13,999
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	—
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△262,730	△112,500
配当金の支払額	△33,119	△33,508
その他	△10,574	△14,232
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,575	△60,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	95,306	121,857
現金及び現金同等物の期首残高	509,736	655,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	605,043	777,387

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。